

小諸市公民館基本方針

— 生きがいづくり・地域づくりのお手伝い —

みんなで一緒に楽しく

公民館は学習の場であることは言うまでもありませんが住民自らが学習と実践を進めているよう支援することが小諸市公民館の重要な役目であると考えます。

そこで、趣味や教養を高める学習と、地域課題に関する学習への支援を今年度も引き続き基本方針とします。

①共に支え合う地域コミュニティづくりをめざし、生活課題・地域課題に関する学習と実践を支援

大震災等の教訓から、地域コミュニティの大切さが再認識され、さらに「事前復興」という考え方が注目されていますが、防災に關してだけでなく、「住民が主体となって地域をどのようによくしていくか」等の学習の機会を支館・分館事業の中に設けていただけるような支援に努めたいと思います。

②多様な市民ニーズに応え、生きがいづくりに生かされる学習を支援

多くの住民のニーズに応えるよう各種教室・学級・講座を充実させ、そこでの学習を通して趣味・教養を高めたり、交流を深め自主サークルに発展させたりすることにより生きがいづくりが進められるよう支援します。

して閉鎖的な場になりかねず公平性・公共性になわなくもなります。

多くの人に開かれた場であるべき公民館としても、公民館の活性化という点からも、幅広い年齢層の多くの市民にご参加いただけるよう、次の3点を今年度の重点として推進してまいります。

①他機関・団体等との連携強化

文化センター内の文化会館や働く婦人の家の事業に留まらず、市内のいろいろな方々との共催や後援などの協力を体制を整える。

②幅広い年齢層対象の事業充実

活動場所を館外にも設け、子ども講座など青少年対象の講座等を企画する。

③広報活動の工夫

より多くの市民へ情報を発信するため、公民館報を充実させるとともに、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用する。

この状態が進むと、参加者の同質性が高まり、結果と

平成29年度

公民館報編集委員の紹介



「公民館報」は、昭和24年に第1号が発行されてから毎月発行しています。この公民館報を作っているのが「館報編集委員」です。各支館から1名ずつ（中央支館は2名）推薦され、毎月2回、原稿校正や次号の検討などを行っています。

また、支館・分館の行事へ取材にお伺いし、記事を執筆します。

記事にすることで、市民の皆様は地域情報を提供し地域の文化・伝統を継承や発展につなげられればと思います。公民館報で地域と人、人が「つながる」ことができるように、また、広報こもろリニューアルに合わせて、「公民館報こもろ」もより良いものとなるように努力してまいりますので、よろしくお願ひします。



私たちが取材にお伺いします

【前列右から】

中央支館 木内 那穂
中央支館 山中 祐子
川辺支館 山浦 民子
三岡支館 遠山 厚子

【後列右から】

南大井支館 倉内 さよ
大里支館 桜井 大一
西小諸支館 金子 美江
北大井支館 竹節 正勝